



## 「野球しようぜ」

### 町内小学校に大谷翔平選手からのグローブが到着

メジャーリーガーの大谷翔平選手が、子どもたちに野球に興味を持ってもらうため、全国の小学校約2万校にユニフォーム用グローブ3つ(右利き用2つ・左利き用1つ)を寄贈されました。日野町の5つの小学校にも届き、1月9日(火)の3学期始業式の際に児童たちにお披露目されました。

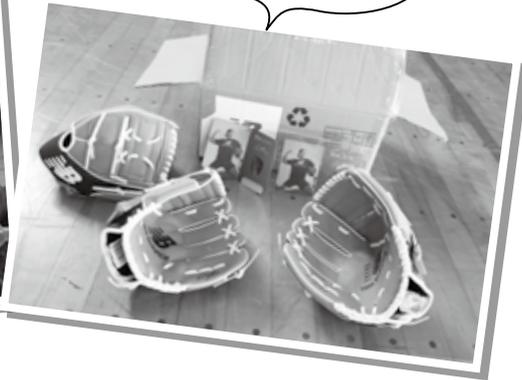
西大路小学校では、校長先生がグローブの到着を報告するとともに大谷選手が高校時代に活用していた目標達成シート「マンガラチャート」を紹介し、6年生の児童が下級生たちの前でキャッチボールを実演しました。

同梱されていた大谷選手からのメッセージには「このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです」と記され「野球しようぜ」と締めくくられています。

グローブを手にした児童たちは目を輝かせて喜び、大谷選手の思いをしっかりと受け止めていました。



大谷選手  
ありがとうございました!



## 新春あつまれひのこ「」 「巨大かるた&巨大すごろく」

1月20日(土)、大谷公園体育館で日野町子ども会指導者連絡協議会主催の「巨大かるた&巨大すごろく」が行われ、町内の小学生17人が参加しました。

この巨大かるたは、日野町文化協会作成の「日野町ふるさとかるた」を巨大化したもので、3人から4人でチームを組み、獲得したかるたの枚数を競いあいました。読み札の言葉を聞いて一目散に走り出し、スライディングしながら取ったり、同じタイミングで取った子どもたちはどちらが獲得するか、じゃんけんで決めたりしながら楽しんでいました。

巨大すごろくは、かるたと同じチームでサイコロ役、こま役、チャレンジ役に分かれて行われました。成功したらもう一度サイコロを投げることでできる「チャレンジマス」では、けん玉を1発でお皿に乗せて見事な腕前を披露したり、「別のチームをつれてこれるマス」では、先頭の子の手を引いて仲良く同じマスに戻っていました。珍しい巨大かるたとすごろくで遊び、子どもたちはずっと楽しい笑顔を見せていました。

僕と同じマスに  
戻ろうねよ



1位だったのに〜



# わか もん かい ぎ “ひの若者会議(仮)”通信



## ひの若者会議(仮)とは

次世代を担う若者が、自分達ができること、したいことで、ちょっと日野にいいアイデアを具体的なアクションにつなげていくための集まり。参加メンバーで取り組むテーマごとに「部活」をつくり、プロジェクト化に向け、具体的にできることを考えています。

## 日野の魅力的な「ヒト」「モノ」「コト」を紹介しています

「日野モノコト発信チャンネル編集部」では、日野の魅力的な「ヒト」「モノ」「コト」に焦点をあて、映像として発信していくため、日野町で活躍する人や日野町であった出来事などを取材し、YouTube(日野モノコト発信チャンネル)やInstagramに掲載していきます。

現在、「日野のたから」大発掘!!ワークショップで出された意見を参考に、日野町のたから探し～西大路編～として音羽城跡や雲迎寺(さつき寺)や、また、日野の飲食店をInstagramのリール動画で紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

## 日野高校生との交流会を企画しています

日野高校の協力を得て、ひの若者会議(仮)のメンバーと日野高校生との交流会を企画しています。高校生たちが、社会との接点を通していろいろな生き方の違いを発見し、自分自身のこれからをどう描いていくのか考える機会になればと考えています。

vol.10

メンバーでロゴを作成しました。皆さんに親近感を持ってもらい、若者の輪に多くの人を呼び込みたいという思いがこもっています。



▲リール動画  
(左:雲迎寺 右:音羽城跡)  
◀ひの若者会議(仮)  
Instagram

◆問い合わせ先 企画振興課 企画人権担当 ☎ 0748-52-6552

## 地域おこし協力隊

### 2年目活動報告会を開催しました

2月16日(金)、日野町林業センターホールで地域おこし協力隊2年目活動報告会を開催しました。

隊員からは、関係人口の創出と拡大に向けた活動内容として、マルシェ、INNO DE MARKETなどのイベントや空き家を活用した取り組みが報告されました。また、自身の活動の課題のほか、定住に向けた今後の抱負などについての質問や意見が出されるなど、有意義な時間となりました。

町のYouTubeに活動報告会の様子を掲載していますので、ぜひご覧ください。



町ホームページ

### 地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊は、平成21年に総務省により開始されました。自治体が都市に住む人材を地域おこし協力隊に委嘱し、最大で3年間を期限として地域活性化の活動に従事してもらいながら隊員の定住を図るものです。町では、3名の地域おこし協力隊に着任いただき「関係人口の創出と拡大」移住・定住の促進に取り組んでいます。

●令和4年2月1日から活動開始  
市川愛海さん



吉海星来さん



●令和3年11月16日から活動開始  
宮根通さん



### ◆問い合わせ先

企画振興課

企画人権担当

☎ 0748-52-6552